

基本計画の新レイアウトの対応箇所について

施策の柱 1-1

ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）

◆基本的な施策の方向性

南海トラフ巨大地震の切迫性、局地的・短時間豪雨やスーパー台風による風水害・土砂災害の激甚化、大規模感染症やテロ・武力攻撃のリスク拡大など、これまで経験したことのないあらゆる危機事態への対応が求められています。

さらに、少子高齢化の進展や防災施設を含めた公共インフラの老朽化等は、これら危機事態への対応を難しくさせる要因でもあります。

それでも、本市が持つ地域のつながりやコミュニティはそれらを跳ね返す力を持っています。これまでの防災への活動成果を最大限活かしながら、自助・共助・公助を促進する取組を総合的に推進し、市民の命と暮らしを守る体制強化を進めていきます。

◆施策と主要な取り組み

1. 危機管理体制の実効性を向上させます

あらゆる危機事態に迅速に対応する体制を維持するとともに、経験したことのない危機事態への機動力を向上させるために、状況の変化にも的確に対応できる取組を進めます。

また、災害対応の原動力となる消防団の組織力を強化するほか、災害対応のキーマンとなる市職員の育成を進めることで、危機管理体制の実効性を向上させます。

【主要な取り組み】

- ・災害の復旧・復興までを見据えた、強くてしなやかなまちづくりを進めるために、国土強靱化地域計画や地震対策アクションプログラムに沿った事業を着実に推進します。
- ・風水害や土砂災害につながる異常気象事案を常に警戒し、即応できる初期水防体制の構築を目指します。
- ・UPZ安全協定に基づく中部電力からの通報に対し、迅速かつ適切に対応します。
- ・災害発生時に、市として実施すべき対応や優先的に継続すべき業務などをまとめたBCP（業務継続計画）や原子力災害広域避難計画、新型インフルエンザ等対策行動計画、国民保護計画に基づく対応力を強化し、現行計画を継続的に検証することで、実効性の向上に努めます。

資料編（別掲）に掲載

施策の柱

1-1

ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）

基本的な施策の方向性

南海トラフ巨大地震の切迫性、局地的・短時間豪雨やスーパー台風による風水害・土砂災害の激甚化²、大規模感染症やテロ・武力攻撃のリスク拡大など、これまで経験したことのないあらゆる危機事態への対応が求められています。

さらに、少子高齢化の進展や防災施設を含めた公共インフラの老朽化等は、これら危機事態への対応を難しくさせる要因でもあります。

それでも、本市が持つ地域のつながりやコミュニティはそれらを跳ね返す力を持っています。これまでの防災への活動成果を最大限活かしながら、自助・共助・公助を促進する取組を総合的に推進し、市民の命と暮らしを守る体制強化を進めていきます。

施策と内容

1. 危機管理体制の実効性を向上させます

あらゆる危機事態に迅速に対応する体制を維持するとともに、経験したことのない危機事態への機動力を向上させるために、状況の変化にも的確に対応できる取組を進めます。

また、災害対応の原動力となる消防団の組織力を強化するほか、災害対応のキーマンと

主要な取り組みの事例

- 国土強靱化計画や地震対策アクションプログラムに沿った事業の推進
- BCP³等に基づく対応力の強化
- 消防団の体制の見直しと団員確保の取組
- 危機管理の専門知見を有する人材の育成



2. 地域防災力の維持・向上の取組を加速します

激甚化する自然災害の様相は、気象警報や避難情報の伝達が間に合わないことがあり得ることを示しています。また、大規模地震時には、初動での人命救助活動や初期消火活動で地域の隅々まで救援の手を差し伸べる行動は、自主防災組

主要なものを抜き出し短くまとめたものを掲載

主要な取り組みの事例

- 自主防災組織の活動支援や補助金制度の検討
- 洪水・土砂災害ハザードマップ⁶の更新
- 地域防災の核となる人材の育成

